

令和2年度議会による行政評価結果について

令和2年度泉佐野市議会行財政委員会では、当委員会において選定した施策について、議会による議員全員の評価と意見を取りまとめ、調査と議論の結果、下記のとおり評価を決定し、令和3年度以降の事業と予算についての対応を期待する。

記

施策名 「ひとり親家庭への支援」

施策の方向性 「現状維持」

評価集約

施策		拡充	現状維持	縮小
ひとり親家庭への支援		6	12	
事務事業				
①	児童扶養手当事務事業	4	14	
②	母子家庭等自立支援推進事業	10	8	
③	ひとり親家庭医療助成事業	4	14	

意見集約

現状維持の意見が中心で、拡充の意見も多くありました。多くの議員がひとり親家庭の方の貧困状況や格差に課題を感じていました。その中で、どの事業も重要でよりきめ細やかな支援を求める声が多く、相談や支援体制の充実、制度の周知による自立支援を求める点で共通していました。新型コロナウイルスの影響についても、心配する意見がありました。

事務事業の中では母子家庭等自立支援推進事業が拡充の評価が多数を占めていました。より多くの職種や資格への対応を求める拡充意見が多く、制度の周知を図り実績数を増加させるための拡充意見も複数ありました。

以上の集約結果から、より多くのひとり親家庭の方が貧困状況に陥らないように支援し、より多くの選択肢を作り、制度の周知を図ることで、自立できる家庭を増やし、子どもの貧困や格差を是正できるよう施策の維持と母子家庭等自立支援推進事業の拡充を期待します。

施策名 「少子化対策の推進」

施策の方向性 「現状維持」

評価集約

施策		拡充	現状維持	縮小
少子化対策の推進		4	10	4
事務事業				
①	出会いの機会創出事業	2	9	7
②	結婚新生活支援事業	4	10	4

意見集約

施策評価には現状維持を中心とするものの、拡充と縮小にばらつきがありました。簡潔に集約すると、少子化の現状に対しての課題意識はほとんどの議員が感じており、反面、その課題を解決するための事務事業に関しては有効性に不足を感じていることから、より効果的な事業を求める評価が多数を占めていたと考えられます。この傾向は拡充、現状維持、縮小のどの評価議員にも見られた意見であったため、少子化対策をより推進するとともに、事業を見直していただく必要性が期待される評価結果となりました。

特に出会いの機会創出事業に関しては、縮小が7評価あり、縮小評価以外の議員からも事業の内容や効果が見えないという意見が多く、効果の検証を求める意見や事業の見直しを求める意見が多数ありました。子育て支援課が実施すべき事業であるか、少子化対策に効果的な事業であるか等を検証し、より良い事業実施に見直していただけることを期待します。

結婚新生活支援事業に関しては、施策評価同様にばらつきがあった。定住促進的要素の効果を評価する意見や逆にそれ故に都市計画課などで行うべきという意見もありました。また、若い世代にとって価値があるという意見や、少子化対策に繋がっているとは言い難いという意見もあり、現状維持がおおよその意見集約であると言えます。

施策名 「健康づくり支援の充実」

施策の方向性 「現状維持」

評価集約

施策		拡充	現状維持	縮小
健康づくり支援の充実		8	10	
事務事業				
①	健康づくり事業	5	13	
②	公衆衛生対策事業	3	15	
③	健康増進健康指導事業	5	13	
④	健康マイレージ事業	6	11	1
⑤	健康増進事業	4	12	2

意見集約

施策評価は他の施策評価と比較して、拡充が非常に多い結果となりました。高齢化や新型コロナウイルス感染症の影響を重視し、健康づくりの重要性を多くの議員が感じています。特に拡充の意見に多く見られたのは、広報や啓発の拡充の意見です。より多くの施策効果を出すためには、より多くの市民に参加していただく必要があるという意見が主となる施策評価となりました。より多くの市民が健康に暮らせるよう、施策の維持と効果の拡充を期待します。

事務事業評価に関してはどれも、概ね施策評価と同様の意見となりました。健康づくりを推進する事業について、縮小や廃止の意見はほぼなく、拡充を求める意見が多くありましたが、その多くは施策評価と同じく、広報や啓発を積極的に進め、参加者を増やすことで効果の拡充を期待するものです。